

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ココペリ 上場取引所 東
コード番号 4167 URL <https://www.kokopelli-inc.com>
代表者（役職名）代表取締役CEO（氏名）近藤 繁
問合せ先責任者（役職名）取締役コーポレート事業部（氏名）馬庭 興平（TEL）03(6261)4091
ゼネラルマネージャー
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	866	△17.7	△148	—	△147	—	△113	—
2025年3月期中間期	1,052	13.3	77	—	78	—	36	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △113百万円（—％） 2025年3月期中間期 36百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△14.93	—
2025年3月期中間期	4.85	4.83

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	2,196	1,810	80.3
2025年3月期	2,431	1,905	76.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 1,765百万円 2025年3月期 1,862百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	2,010	0.1	△450	—	△50	—	△70	△9.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	7,916,230株	2025年3月期	7,916,230株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	302,244株	2025年3月期	334,828株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	7,593,688株	2025年3月期中間期	7,568,556株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足資料の入手方法について)

当社は、2025年11月14日 (金) に決算補足説明資料を当社のウェブサイト公開します。また、決算補足説明資料を日本取引所グループウェブサイト上の「適時開示情報閲覧サービス」に掲載します。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や、生成AIの進化による企業の生産性向上や競争力強化への需要が堅調に推移しました。一方で人手不足や継続的な物価上昇により実質賃金が伸び悩み、欧米や中東情勢による資源価格高騰や金融資本市場の変動等の影響から、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

そのような状況下、当社グループは、国内最大級の地域金融機関ネットワークを活用したビジネスエコシステムを構築し、中小企業向け経営支援プラットフォーム「Big Advance（ビッグアドバンス）」並びに補助金活用コンサルティング及びファイル送受信・共有サービス「WebFile」等を提供し、日本の中小企業のDX推進と生産性向上に向けて取り組んでまいりました。

「Big Advance」ではAIエージェント構想を掲げ、全国の中小企業に価値あるテクノロジーを提供することを目指しています。当中間連結会計期間においては、ビジネスマッチング機能で、生成AIの活用により商談依頼文の自動生成が可能となり、また、AIにより会話形式での直感的な検索で検索精度を向上する、対話型AI検索機能を実装する等、継続的に機能の拡充を図っています。

さらに、中小企業を支える地域金融機関の生産性向上と業務効率化を推進するため、金融機関向けのデジタルツールである「BAポータル」、AI FAQサービス「SAF（サブ）」、ファイル送受信・共有サービス「WebFile」等の導入推進に取り組み、当中間連結会計期間において、新たにビジネスマッチング管理サービス「BMポータル」をリリースしました。

一方で、補助金活用コンサルティングにおいては、前年第1四半期に計上した大規模な補助金採択に伴う売上高が、当中間連結会計期間には無かったこと等から、前年同期比で売上高が大幅に減少しました。

また、2025年6月にシステムリリースした海外ビジネスマッチングプラットフォーム「BIG ADVANCE GLOBAL（ビッグアドバンスグローバル）」のサービス開始に向けた初期投資も発生しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は866,445千円（前年同期比17.7%減）となり、営業損失は148,852千円（前年同期は77,822千円の営業利益）、経常損失は147,783千円（前年同期は78,942千円の経常利益）、親会社株主に帰属する中間純損失は113,406千円（前年同期は36,715千円の親会社株主に帰属する中間純利益）となりました。

なお、当社グループはビジネスプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ329,345千円減少し、1,240,834千円となりました。これは主に、前払費用が116,260千円増加した一方で、現金及び預金が465,567千円減少したことによるものです。

固定資産合計は前連結会計年度末に比べ95,048千円増加し、956,128千円となりました。これは主に、ソフトウェアが321,872千円増加した一方で、ソフトウェア仮勘定が224,692千円減少したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ119,115千円減少し、264,481千円となりました。これは主に、契約負債が9,954千円増加した一方で、買掛金が7,176千円、未払法人税等が83,111千円、その他（流動負債）が35,551千円減少したことによるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ20,724千円減少し、121,565千円となりました。これは主に、長期借入金返済により20,400千円減少したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ94,456千円減少し、1,810,915千円となりました。これは主に、利益剰余金が112,689千円減少したことと、自己株式が15,281千円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ465,567千円減少し、928,595千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により使用した資金は233,059千円となりました。資金の減少要因は主に、税金等調整前中間純利益が△145,744千円となったことに加え、未払消費税25,493千円及び法人税等77,453千円の支払によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動により使用した資金は205,068千円となりました。これは主に、「Big Advance」及び当中間連結会計期間にシステムリリースした「BIG ADVANCE GLOBAL」の開発のための無形固定資産の取得による支出201,694千円を計上したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動により使用した資金は27,439千円となりました。これは、長期借入金の返済による支出27,120千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月14日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想から修正はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,394,162	928,595
売掛金及び契約資産	122,755	133,090
前払費用	38,183	154,444
その他	15,853	25,452
貸倒引当金	△775	△748
流動資産合計	1,570,180	1,240,834
固定資産		
有形固定資産	88,899	80,969
無形固定資産		
ソフトウェア	168,469	490,342
ソフトウェア仮勘定	260,508	35,815
のれん	238,189	206,993
無形固定資産合計	667,166	733,152
投資その他の資産		
繰延税金資産	55,654	87,455
その他	49,358	54,551
投資その他の資産合計	105,012	142,007
固定資産合計	861,079	956,128
資産合計	2,431,259	2,196,962
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,664	56,487
未払費用	65,499	66,750
1年内返済予定の長期借入金	51,680	44,960
未払法人税等	92,881	9,770
契約負債	25,962	35,916
賞与引当金	3,092	3,337
受注損失引当金	-	1,993
その他	80,816	45,265
流動負債合計	383,596	264,481
固定負債		
長期借入金	124,059	103,659
退職給付に係る負債	14,852	15,408
その他	3,379	2,498
固定負債合計	142,290	121,565
負債合計	525,887	386,047

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	812,355	812,355
資本剰余金	786,655	786,655
利益剰余金	420,328	307,638
自己株式	△156,873	△141,591
株主資本合計	1,862,464	1,765,056
新株予約権	42,907	45,858
純資産合計	1,905,372	1,810,915
負債純資産合計	2,431,259	2,196,962

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,052,680	866,445
売上原価	488,005	491,852
売上総利益	564,674	374,593
販売費及び一般管理費	486,851	523,445
営業利益又は営業損失(△)	77,822	△148,852
営業外収益		
受取利息及び配当金	139	1,220
受取保険金	1,271	343
雑収入	616	530
営業外収益合計	2,027	2,094
営業外費用		
支払利息	907	986
その他	-	38
営業外費用合計	907	1,025
経常利益又は経常損失(△)	78,942	△147,783
特別利益		
新株予約権戻入益	3,918	2,038
特別利益合計	3,918	2,038
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	82,861	△145,744
法人税等	46,145	△32,338
中間純利益又は中間純損失(△)	36,715	△113,406
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	36,715	△113,406

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	36,715	△113,406
中間包括利益	36,715	△113,406
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	36,715	△113,406

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	82,861	△145,744
減価償却費	60,060	96,020
のれん償却額	31,195	31,195
受注損失引当金の増減額(△は減少)	17,953	1,993
受取利息及び受取配当金	△139	△1,220
支払利息	907	986
株式報酬費用	9,241	7,751
新株予約権戻入益	△3,918	△2,038
売上債権の増減額(△は増加)	△11,814	4,723
仕入債務の増減額(△は減少)	32,562	9,366
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,602	△25,493
その他	△54,666	△133,363
小計	172,846	△155,822
利息及び配当金の受取額	139	1,220
利息の支払額	△864	△1,004
法人税等の支払額	△10,022	△77,453
営業活動によるキャッシュ・フロー	162,098	△233,059
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,023	△2,784
無形固定資産の取得による支出	△71,121	△201,694
投資有価証券の売却による収入	—	300
保険積立金の積立による支出	△1,396	△1,391
保険積立金の解約による収入	775	502
事業譲渡による収入	6,216	—
出資金の回収による収入	100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,450	△205,068
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△28,814	△27,120
リース債務の返済による支出	—	△319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,814	△27,439
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	58,834	△465,567
現金及び現金同等物の期首残高	1,314,834	1,394,162
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,373,668	928,595

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業セグメントは、ビジネスプラットフォーム事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。